

二大学合同登山 報告書

成蹊大学ワンダーフォーゲル部

報告者：堀江誠人

1. 参加者 4年生1人、3年生1人、2年生2人、1年生2人 計6名
東洋大学 7人 (OB1人 3年生5人 監督1人)

2. 実施日 2016年7月3日(日)

3. 行動報告 天候：晴れ

	猿橋駅	→	登山口	→	百蔵山	→	小タラ山	→	扇山	→	登山口
着			10:35		12:05				14:30		15:35
発	9:35		10:40		12:50				14:40		15:40
	→ 鳥沢駅										
着	16:40										
発											

4. 振り返り

予定よりも出発時刻が30分ほど遅れて始まったが、道中で少しずつ時間を短縮することができ、ほぼ計画通りに行動できた。駅から登山口までの約1時間の道のりがアスファルトでできた道で、また、この日は非常に気温が高かったので皆歩くのが辛そうだった。登山口から百蔵山までの道のりは、全体的に見て比較的登りやすかったように思われる。ただ、山頂間近で突然斜度がきつくなった。登山が初めてだったという東洋大学の方々もここで特に苦勞していたように見受けられた。

百蔵山山頂で東洋大学の方々と別れ、扇山を目指した。百蔵山から扇山までの道のりにも激しいアップダウンは少なかった。今回の2つの山は、ともに山梨百名山に選ばれているが、見晴らしは扇山のほうが良かった。扇山からの下山の道は、非常に緩やかで歩きやすい道だった。道の途中に水場が1か所ある。

今回の登山は交流目的な面があったので、登山そのもののレベルとしては大したことはなかったように思われる。けが人も出ず、安全に山行ができたと言えると思う。しかし、想定していたよりも当日の気温が高く、摂取水分量が増えたために下山途中の水場が無かったら飲み物が無くなりそうになってしまっていた。今回は水場があったのでなんとかなったが、どこでもこううまくいくとは限らない。たとえ日帰りの登山でも非常時に対応できるように余分な水分、食料を持ち歩く必要性を強く感じた。

5. 活動写真

